

2019年3月期

決算説明会

JKホールディングス株式会社（9896）

代表取締役社長 青木 慶一郎



2019年5月27日



スマイルが生まれる住まい

JK Holdings Co.,Ltd.

2019年3月期

業績

	売上高	経常利益	当期純利益
2019年3月期	3,589億円	46億円	21億円
2018年3月期	3,461億円	48億円	28億円

- ・ 売上高の増加、合板の粗利率が低下、人件費と運賃の上昇を主因とした経費の増加により減益。
- ・ 新設住宅着工戸数が952.9千戸（前年比0.7%増）、持ち家着工戸数は287.7千戸（同2.0%増）
⇒ 前年度減少から反転増加

配当

2019年3月期

中間配当	8円
期末配当	9円
年間配当	17円



2020年3月期

9円（予）
10円（予）
19円（予）

J Kホールディングス(株)について

4ページ

(1) 会社概要	5
(2) 事業概要と主なグループ企業	6
(3) グループ中核企業ジャパン建材の事業紹介	7
(4) ジャパン建材フェアの様子	8
(5) PB商品Bullsの販売状況	9
(6) J K木造建築グループの取り組み	10

2019年3月期決算概要

11ページ

(1) 事業環境 - 合板市況の推移	12
(2) 業績サマリー	13
(3) 業績の推移	14
(4) 事業別の売上高・営業利益推移	15
(5) 主要連結子会社の業績推移	16
(6) 販管費増減分析	17
(7) 連結B/S の状況	18

補足資料

19ページ

(1) 業績予想	20
(2) 利益処分に関する基本方針及び配当金	21
(3) 全国縦断の施工ネットワーク（ジャパン建材(株) J Kエンジニアリング課）	22
(4) 工務店様のより良い住まいづくりを応援する会「快適住実の家」	23
(5) 株式会社ティンバースケープ 設立	24
(6) 物林『江東区有明西学園新築工事』	25
(7) グループ内組織再編	26
(8) キーテック山梨工場竣工	27

中期経営計画

29ページ

(1) 中期目標 - 売上高と当期利益の見通し	30
(2) 重点施策	31



J Kホールディングス(株)について

企業理念

「快適で豊かな住環境の創造」

「快適で豊かな住環境の創造」を企業理念に掲げ、日本の住環境を少しでもよくするため、すべてのお客様に貢献することを目指しています。

特に、商売上ではお客様が儲かってこそ我々も初めて儲かるという観点から、「すべての取引先のお役に立つ事を目指す」をモットーに、共存共栄の精神で経営に当たっています。社内研修でも会長をはじめ、役員が必ず講義の時間を持ち、社員に対して経営理念の共有化を心掛けています。

基本情報（2019年3月31日現在）

商号	J Kホールディングス株式会社 (JK Holdings Co.,Ltd.)	創業	1937年10月
代表者	代表取締役社長 青木 慶一郎	所在地	東京都江東区新木場1-7-22
資本金	3,195百万円	事業の内容	① 総合建材卸売事業 13社
従業員数	2,896名（連結）		② 合板製造・木材加工事業 10社 ③ 総合建材小売事業 22社 ④ その他 18社

スマイルが生まれる住まい
JK Holdings Co.,Ltd.

(2019年3月31日現在)

(株)ハウス・デポ・パートナーズ ジャパン建材沖縄(株)

(3) グループ中核企業ジャパン建材の事業紹介

ジャパン建材(株)は一軒の住宅を建てるために必要とされる、さまざまな部材・資材の販売（卸売）を主な事業内容としています。



・素材

合板・木材・石膏ボード・断熱材

・外装・サッシ

外壁材・屋根材・サッシ・玄関ドア・エクステリア

・内装材

床材・建具・収納・階段

・水廻り

キッチン・ユニットバス・洗面化粧台・トイレ

・省エネ機器

太陽光発電・蓄電池・HEMS・エコキュート

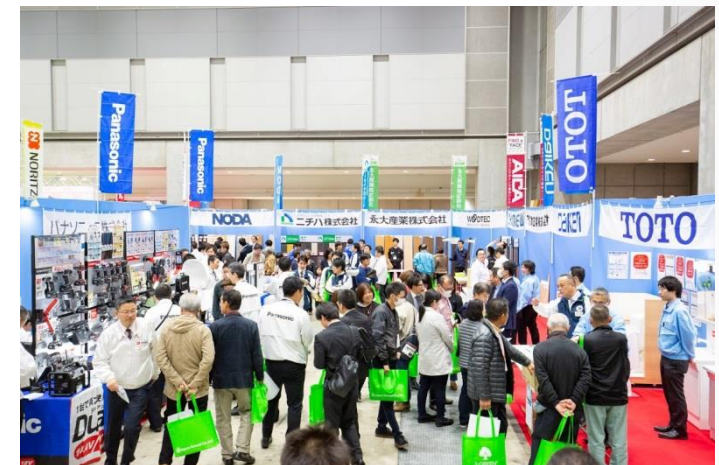
…etc.



(4) ジャパン建材フェアの様子

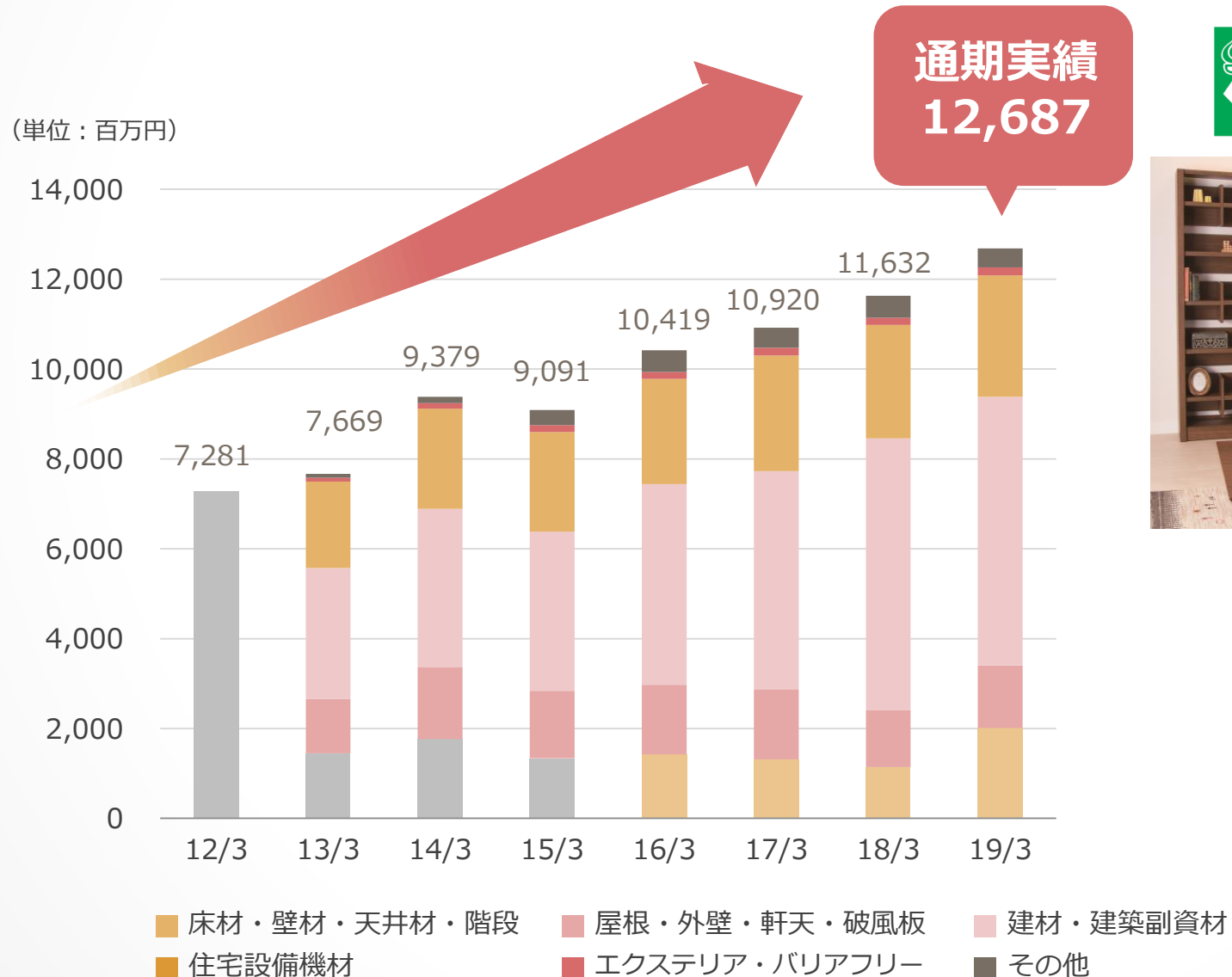
毎年東京ビッグサイトに年2回開催される当社最大のイベントで業界最大規模の展示即売会です。
第41回の展示会は3月15日・16日に行い、『住まい方・暮らし方-Road to 2020-』をテーマに掲げ、プロユーザー向けに様々な提案やセミナー実演を行いました。

	第38回 ジャパン建材 フェア (17年8月)	第39回 ジャパン建材 フェア (18年3月)	第40回 ジャパン建材 フェア (18年8月)	第41回 ジャパン建材 フェア (19年3月)
売上実績 (単位：百万円)	54,200	54,220	54,930	54,680
動員実績 (単位：人)	23,870	22,415	22,199	20,306



(5) PB商品Bullsの販売状況

2018年3月期は新商品の発売によって床材や断熱材・照明器具の販売を拡大しました。
2019年3月期は引き続きジャパン建材(株)の強みである基礎資材の販売に注力し、今後普及が見込まれるZEH住宅に関わる照明・断熱・換気、また新しい分野の屋根材やエクステリア商材の開発と販売にも力を入れ、通期売上130億円を目指します。



ブルズ
Bulls



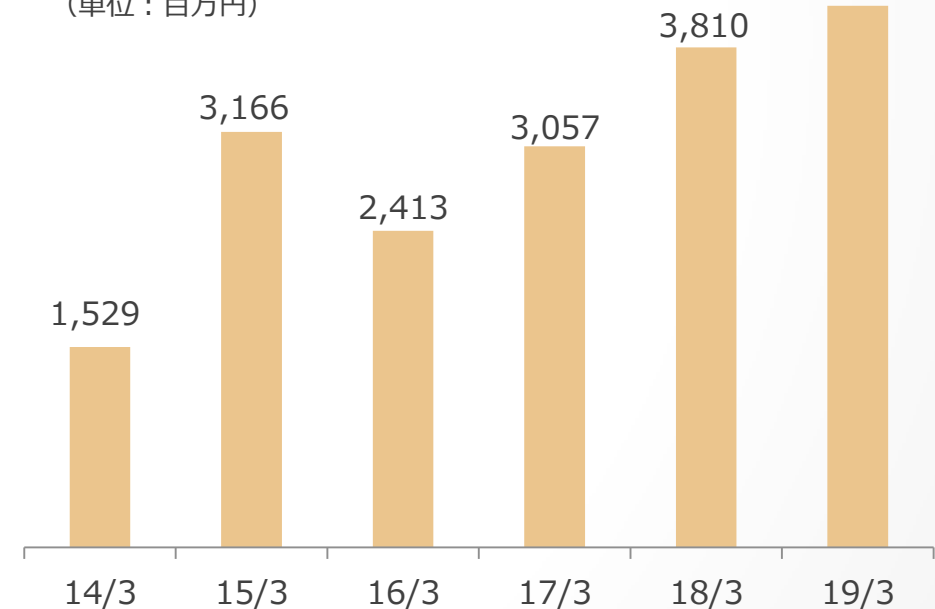
(6) J K 木造建築グループの取り組み

2018年3月期：3,810百万 2019年3月期：4,129百万 前年対比：108.4%
売上100億を目標に取り組み中、グループの力を協働し全体のボリュームアップを目指します。
各社非住宅案件の営業を強化し、大型案件の受注につなげ業績拡大を目指します。

J K 木造建築グループ



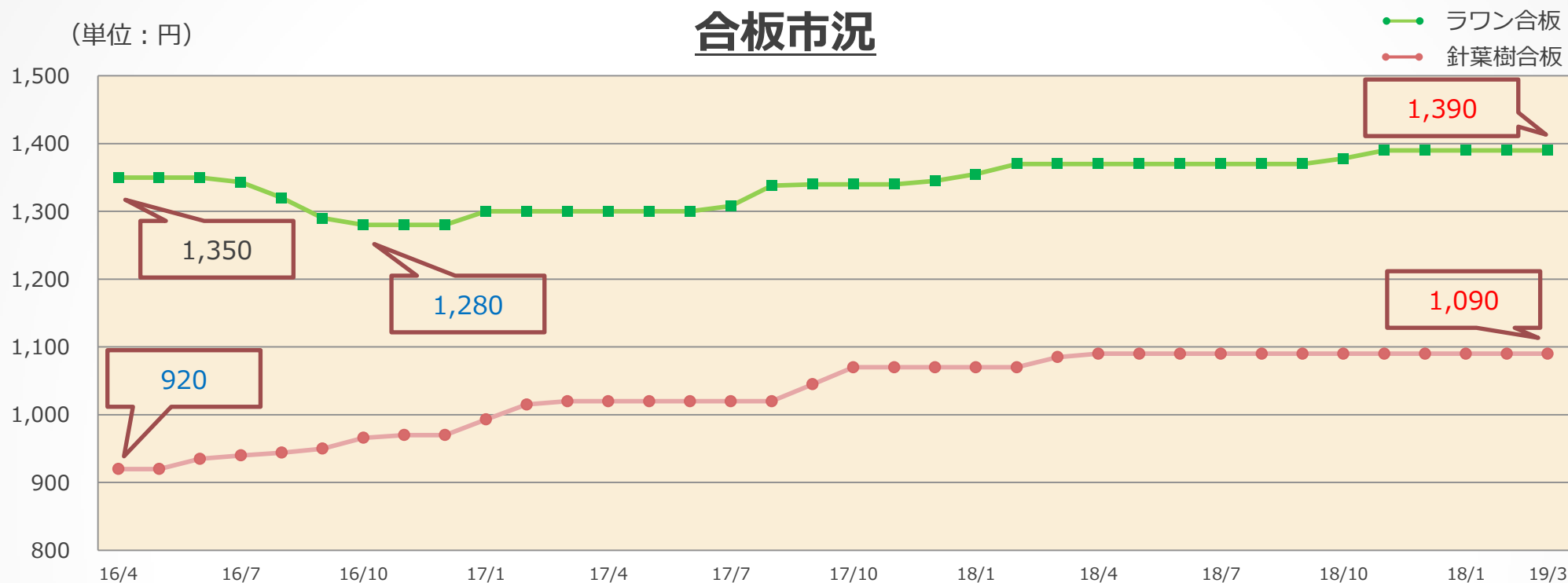
（単位：百万円）



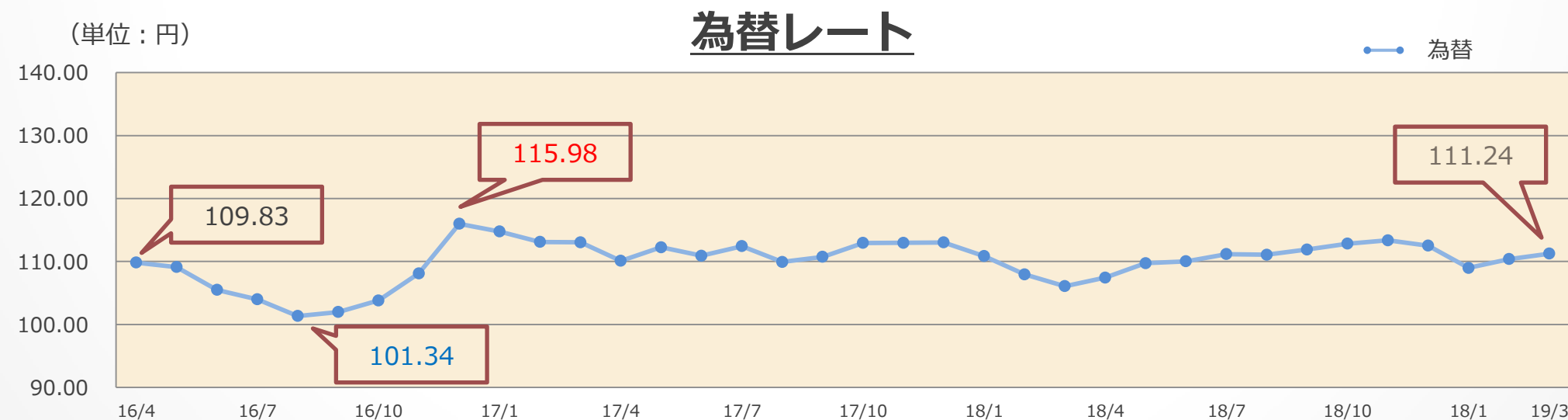
通期実績 4,129百万
前年比 108.4%

2019年3月期決算概要

(1) 事業環境 - 合板市況と為替レート推移



(注) NIKKEI 東京価格を参照



(注) 三菱東京U F J 銀行 公表相場TTM平均金額を参照

(2) 業績サマリー

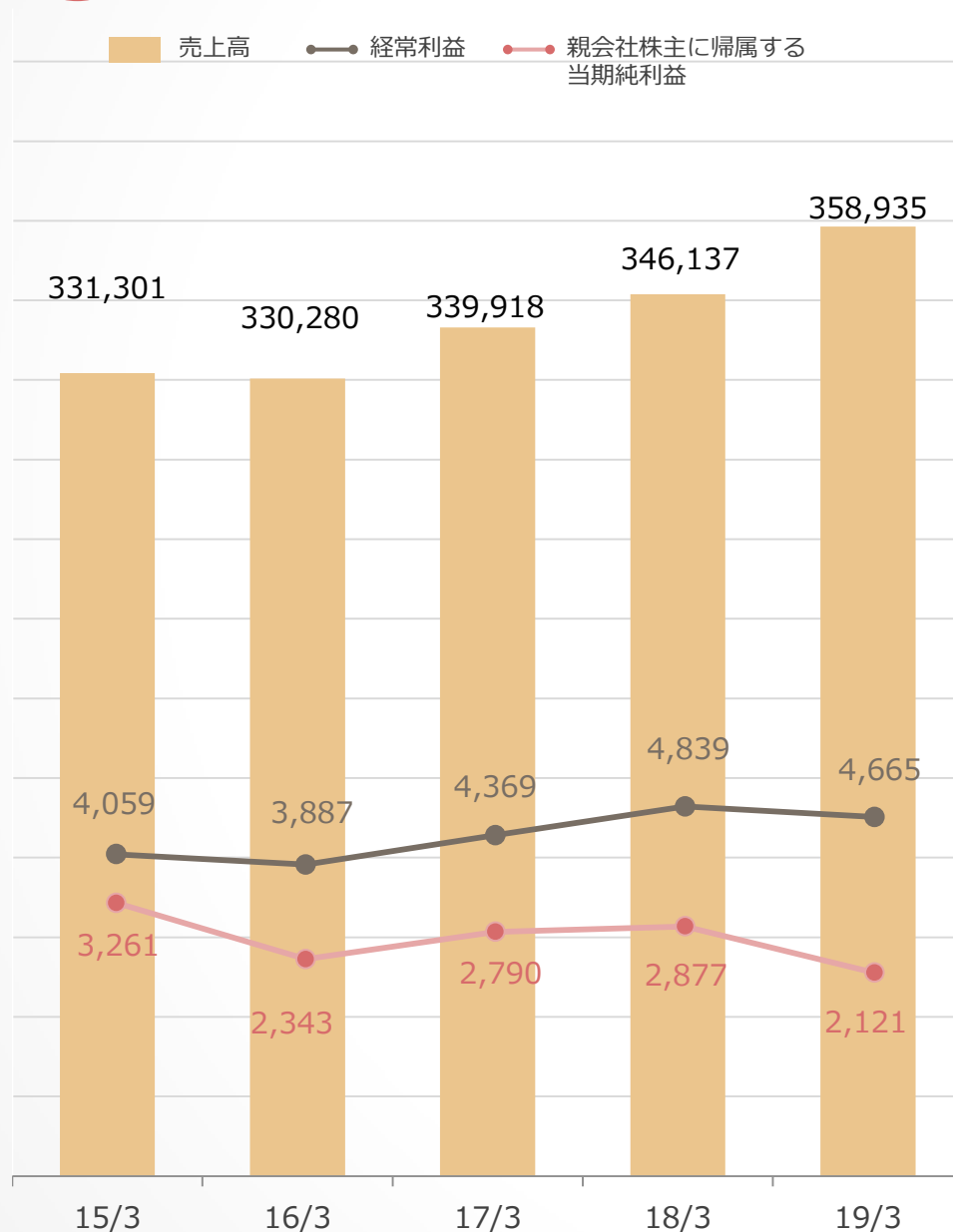
■売上高	358,935百万円	: 前年比	3.7%増
■営業利益	4,976百万円	: 前年比	0.5%減
■経常利益	4,665百万円	: 前年比	3.6%減
■1株当たり配当金	17円		

(百万円)	18年3月期	19年3月期							
	通期	第1四半期 実績	第2四半期 実績	第3四半期 実績	第4四半期 実績	上期 実績	下期 実績	通期 実績	通期 計画
売上高	346,137	85,327	87,257	95,959	90,391	172,585	186,350	358,935	350,000
売上総利益	35,118	8,792	8,875	9,457	9,471	17,667	18,928	36,596	35,700
売上高総利益率	10.1%	10.3%	10.2%	9.9%	10.5%	10.2%	10.2%	10.2%	10.2%
営業利益	5,003	1,223	1,109	1,637	1,007	2,332	2,644	4,976	5,200
営業利益率	1.4%	1.4%	1.3%	1.7%	1.1%	1.4%	1.4%	1.4%	1.5%
経常利益	4,839	1,193	1,014	1,482	974	2,208	2,456	4,665	5,000
経常利益率	1.4%	1.4%	1.2%	1.5%	1.1%	1.3%	1.3%	1.3%	1.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,877	616	550	779	174	1,167	954	2,121	3,000
当期純利益率	0.8%	0.7%	0.6%	0.8%	0.2%	0.7%	0.5%	0.6%	0.9%
EPS (円)	93.46	-	-	-	-	37.9	30.9	68.76	94.2
一株当たり配当 (円)	17.0	-	-	-	-	8.0	9.0	17.0	17.0
ROE (%)	7.8	-	-	-	-	-	-	5.4	-

(3) 業績の推移

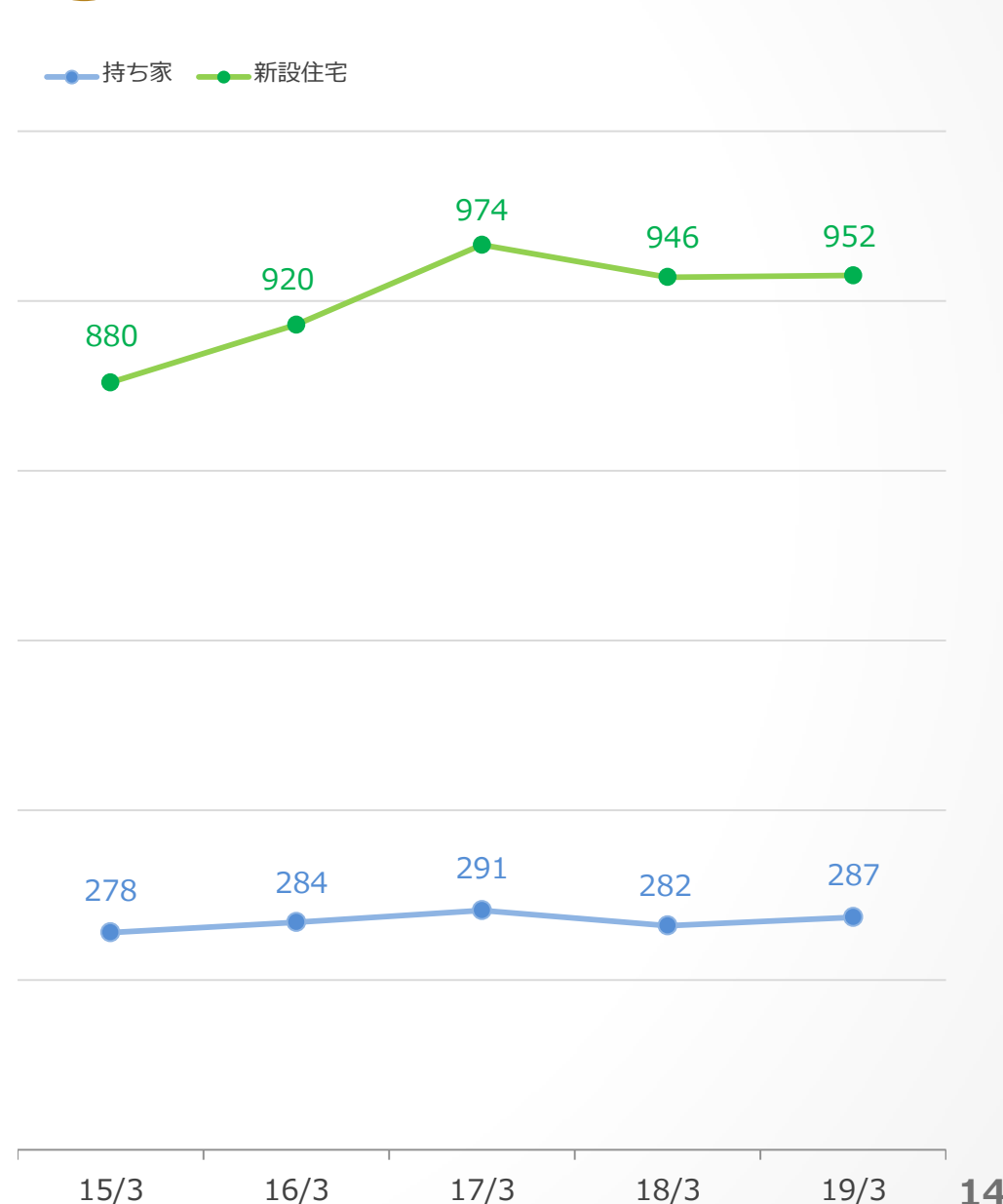
業績

(単位：百万円)



住宅着工

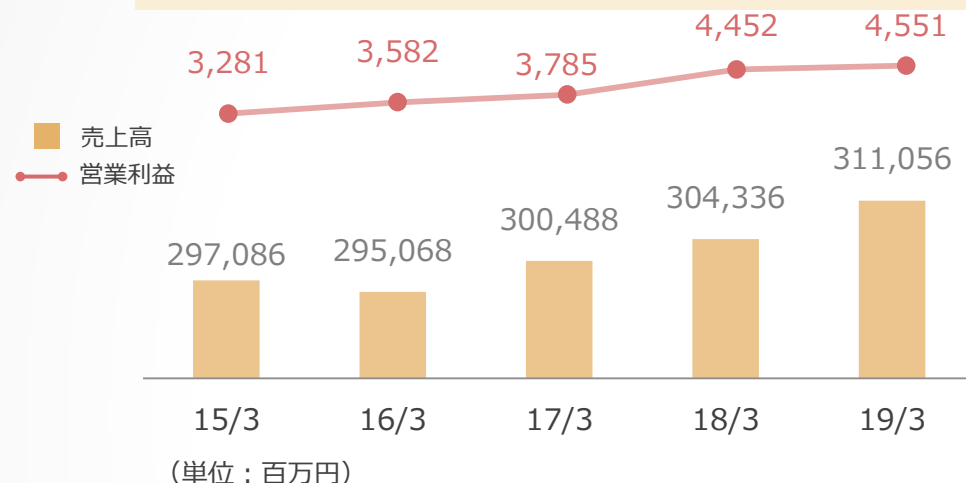
(単位：千戸)



(4) 事業別の売上高・営業利益推移

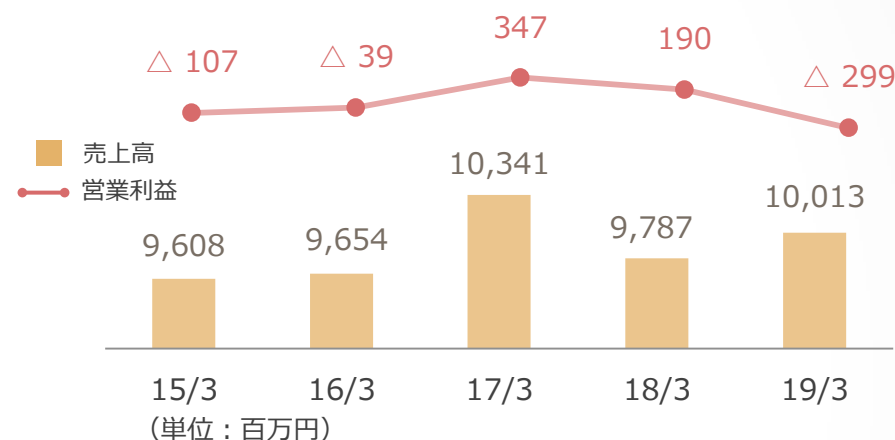
① 総合建材卸売事業

合板の売上は伸びたものの粗利は低下し、その他の建材、住設建材群の売上、粗利は増加いたしました。また、内装工具に強みを持つ(株)広島を買収いたしました。



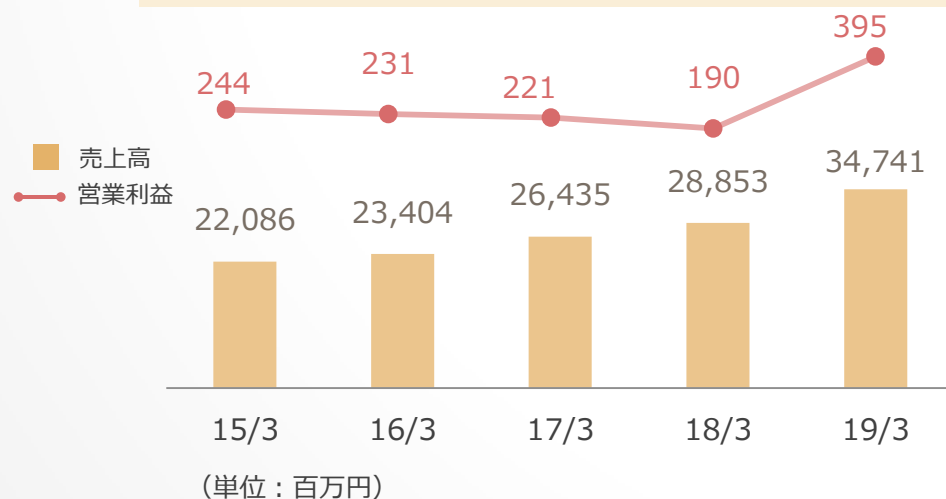
② 合板製造・木材加工事業

(株)キーテックではLVLについて減収減益に加え、山梨合板工場の人件費が先行して増加しており、全体で減益となりました。木材加工業では一部子会社が材料高の製品安の状況から大幅な減益が続いています。

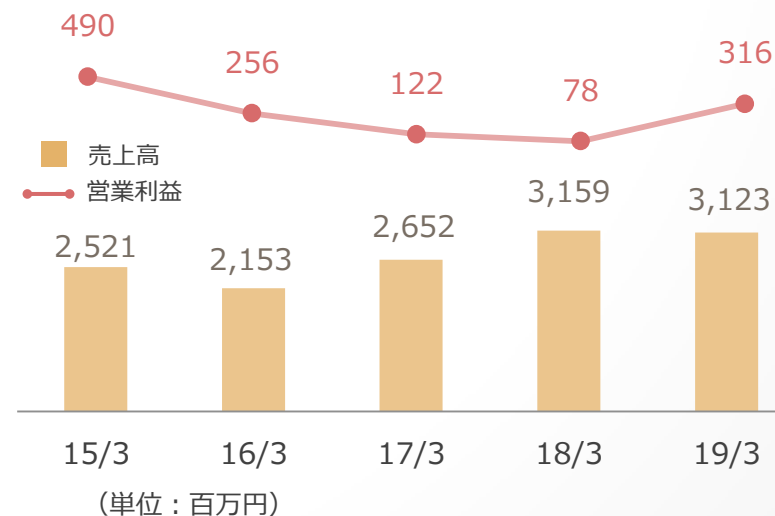


③ 総合建材小売事業

同業との競争が激化する中、子会社、関連会社の再編を図るなど体制整備に努めました。

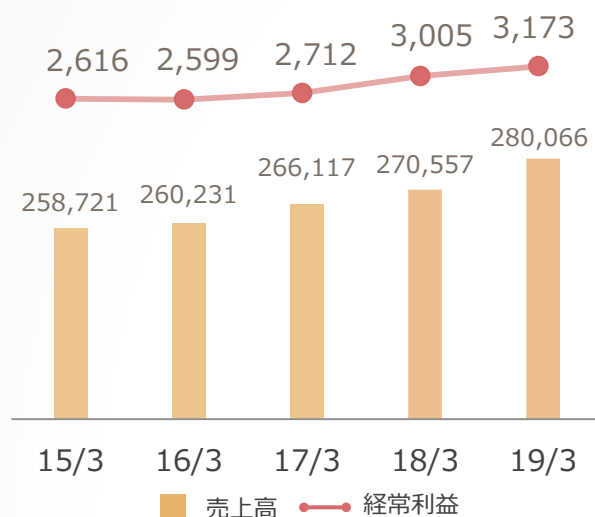


④ その他



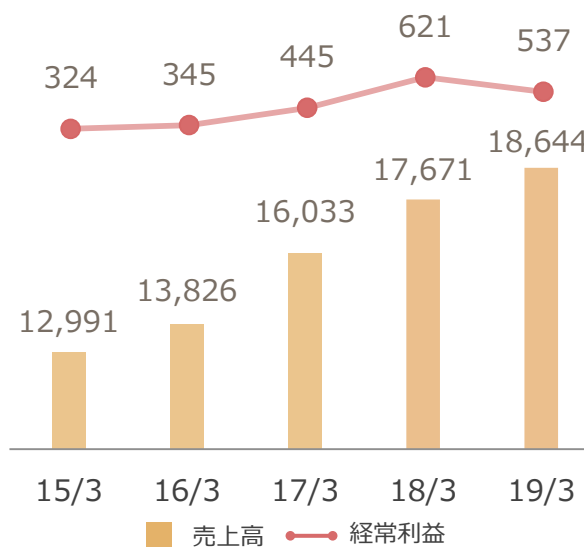
(5) 主要連結子会社の業績推移

① ジャパン建材(株)



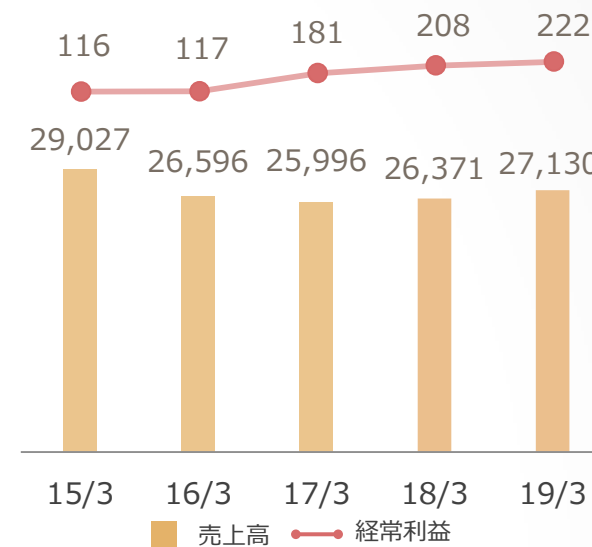
(単位：百万円)

② 通商(株)



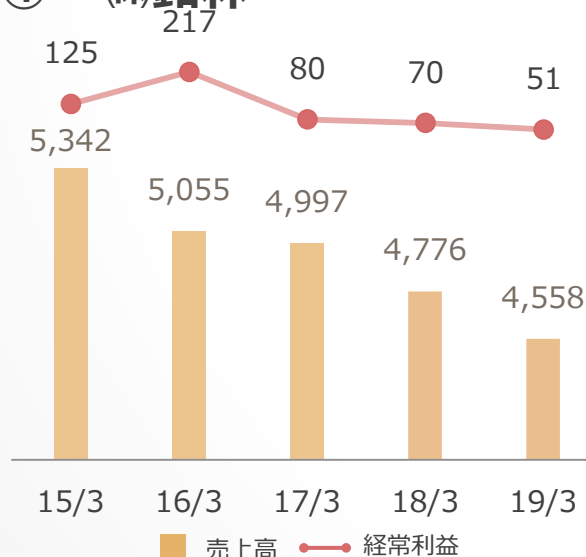
(単位：百万円)

③ 物林(株)



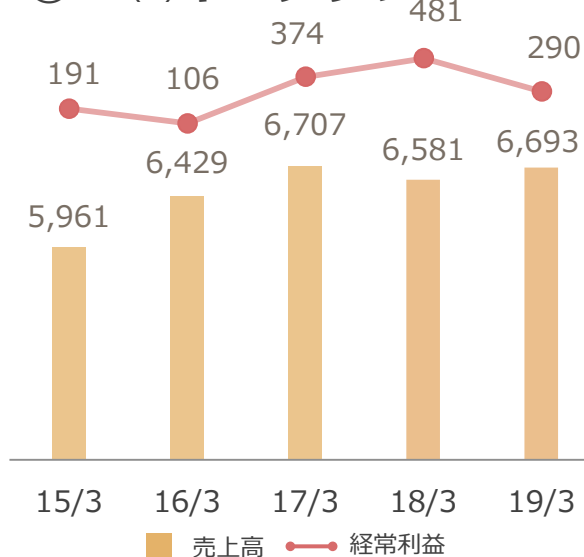
(単位：百万円)

④ (株)銘林



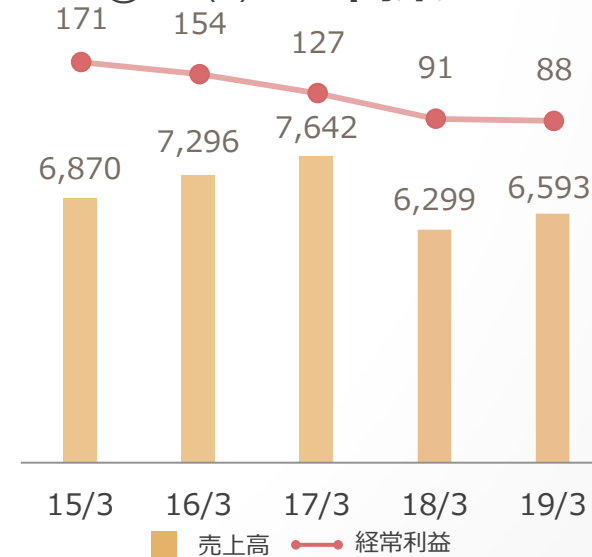
(単位：百万円)

⑤ (株)キーテック



(単位：百万円)

⑥ (株)HD関東

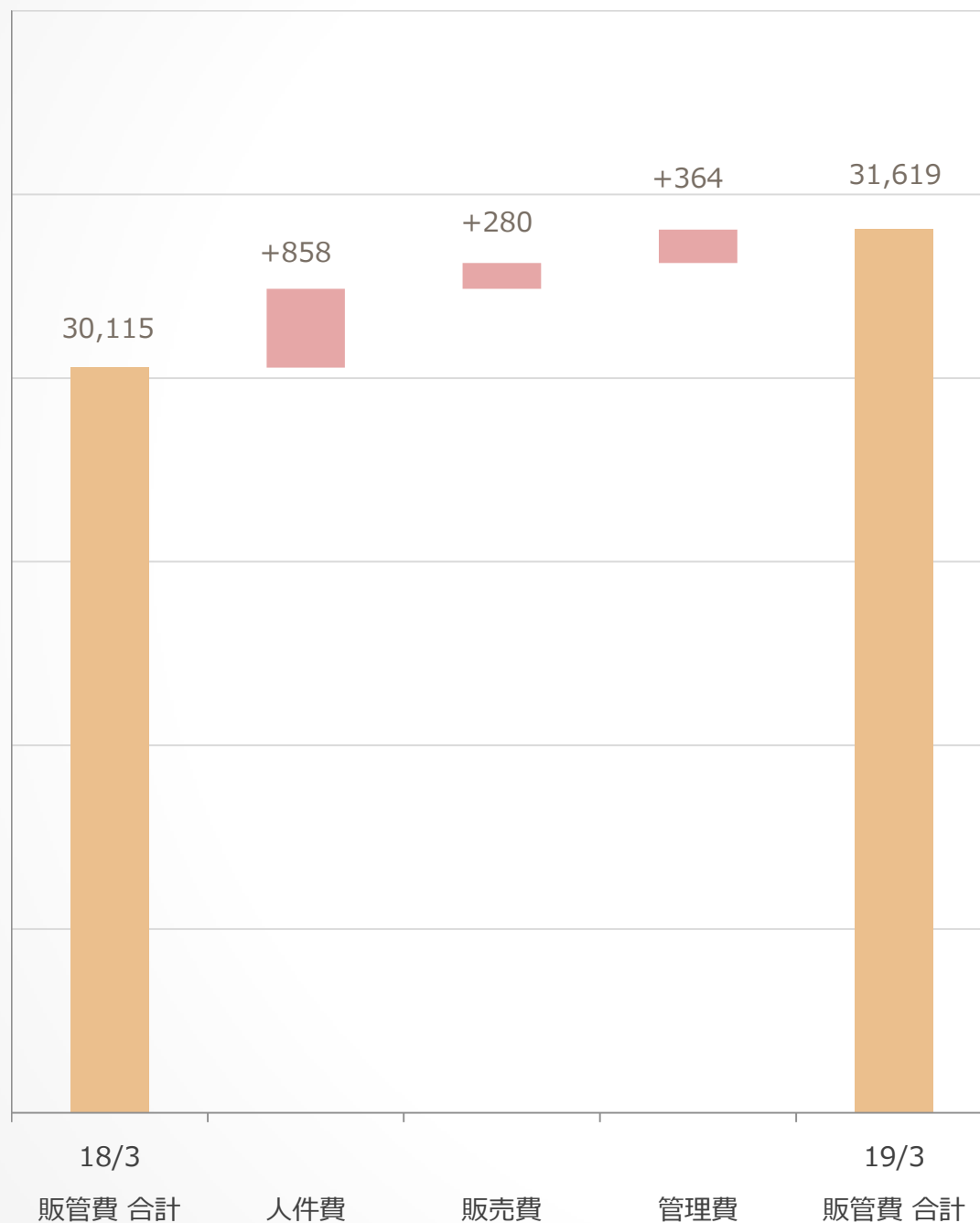


(単位：百万円)

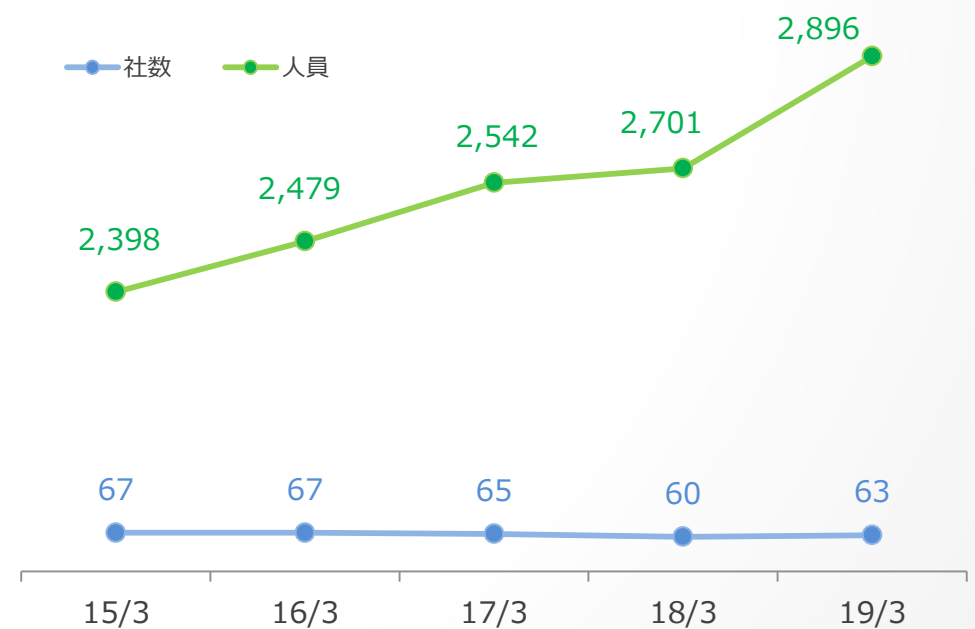
(6) 販管費増減分析

(単位：百万円)

(単位：百万円)



	主要販管費増減内訳		
	18/3	19/3	増減比率
人件費	16,950	17,809	5.1%
販売費	7,426	7,707	3.8%
管理費	5,738	6,103	6.4%
合計	30,115	31,619	5.0%



(7) 連結B/Sの状況

貸借対照表

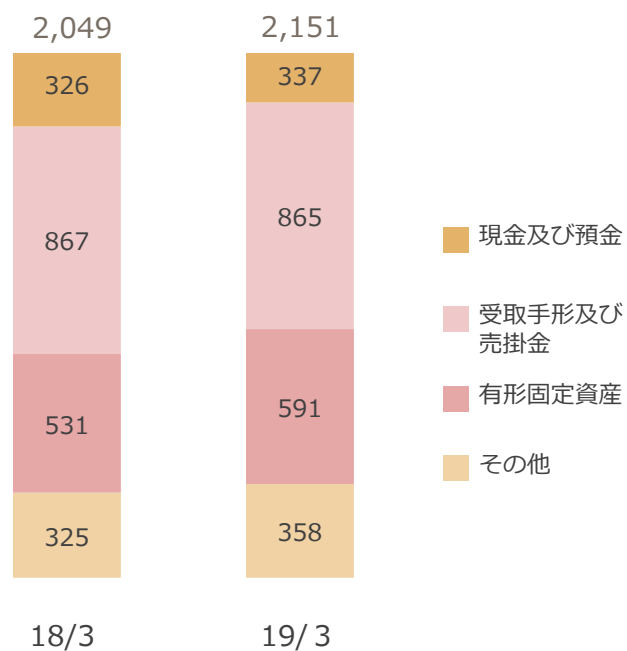
流動比率



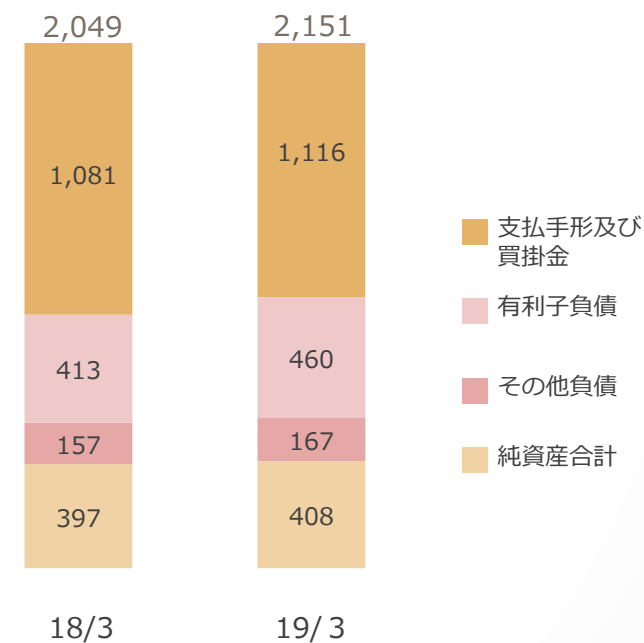
自己資本比率



資産



負債・純資産



(単位：億円)



補足資料

(1) 業績予想

■売上高	19年3月期（実績）	3,589億円	⇒	20年3月期（計画）	3,650億円
■営業利益	19年3月期（実績）	49億円	⇒	20年3月期（計画）	50億円
■経常利益	19年3月期（実績）	46億円	⇒	20年3月期（計画）	47億円

（単位：億円）

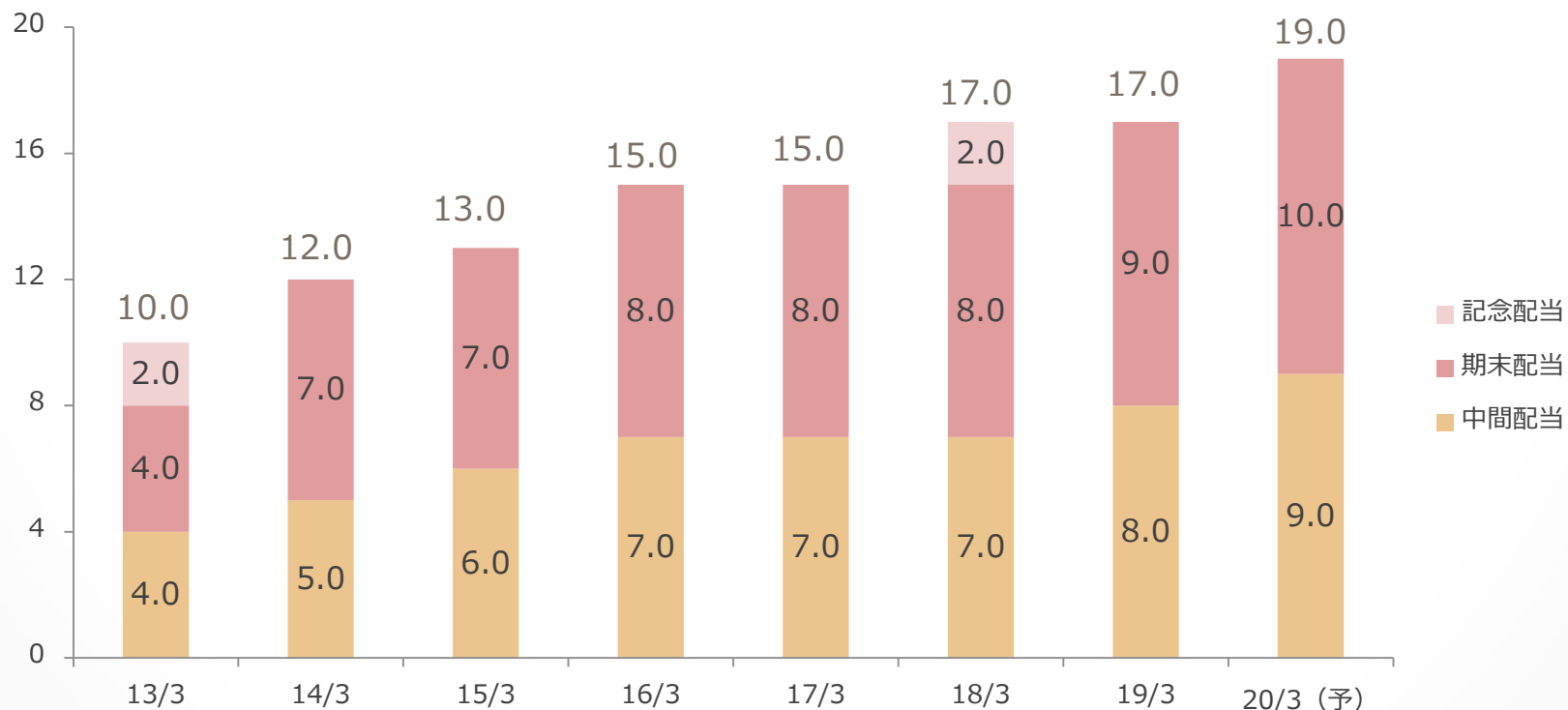
	19年3月期			20年3月期		
	上期 実績	下期 実績	通期 実績	上期 計画	下期 計画	通期 計画
売上高	1,725	1,863	3,589	1,780	1,870	3,650
売上総利益	176	189	365	182	191	373
売上高総利益率	10.2%	10.2%	10.2%	10.2%	10.2%	10.2%
営業利益	23	26	49	25	25	50
営業利益率	1.4%	1.4%	1.4%	1.4%	1.3%	1.4%
経常利益	22	24	46	24	23	47
経常利益率	1.3%	1.3%	1.3%	1.3%	1.2%	1.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	11	9	21	13	13	26
当期純利益率	0.7%	0.5%	0.6%	0.7%	0.7%	0.7%
E P S（円）	-	-	68.77	-	-	81.66

(2) 利益処分に関する基本方針及び配当金

- 当社は、企業体質の強化と今後の事業拡大に必要な内部保留の充実を図るとともに、株主各位への安定かつ継続的な利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置付けている。
- なお、内部保留資金はM&Aや営業拠点網の整備などの成長投資に充当するほか、有利子負債の削減等、財務体質の一層の充実・強化にも活用する。
- 19年3月期の配当については、引き続き収益改善を図る中で株主還元を強化する観点から、中間配当1株当たり9円、期末配当1株当たり10円、1株当たり年間配当19円と、2円の増配予想としています。

配当金の推移

(単位：円)



(注) 13/3月期は創業75周年記念の記念配当、18/3月期は創業80周年の記念配当を含む。

(3) 全国縦断の施工ネットワーク

全国47都道府県の主要都市への水廻り施工ネットワークの整備は完了。
今後は、更なる施工品質の強化に取り組んでいきます。

◆ ビジョン

- ・ 全国縦断の安心安全&高品質の施工ネットワーク構築
- ・ 新需要領域へのアプローチ
- ・ 全社連携での強力な販売体制の確立
- ・ 新しい営業スタイル（商材+施工）の創造
- ・ 身近で頼りがいのあるJKエンジニアリング作り

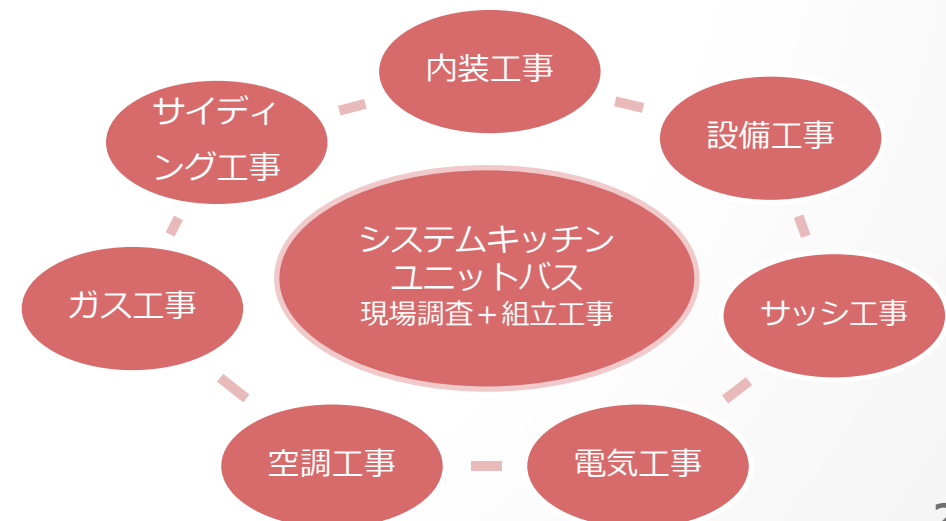
(百万円,台)	19年3月期			18年3月期
	上期 実績	下期 実績	通期 実績	通期
売上高	239	313	552	544
施工台数	4,699	5,655	10,354	9,325

施工ネットワーク

全国縦断
360社
1400班

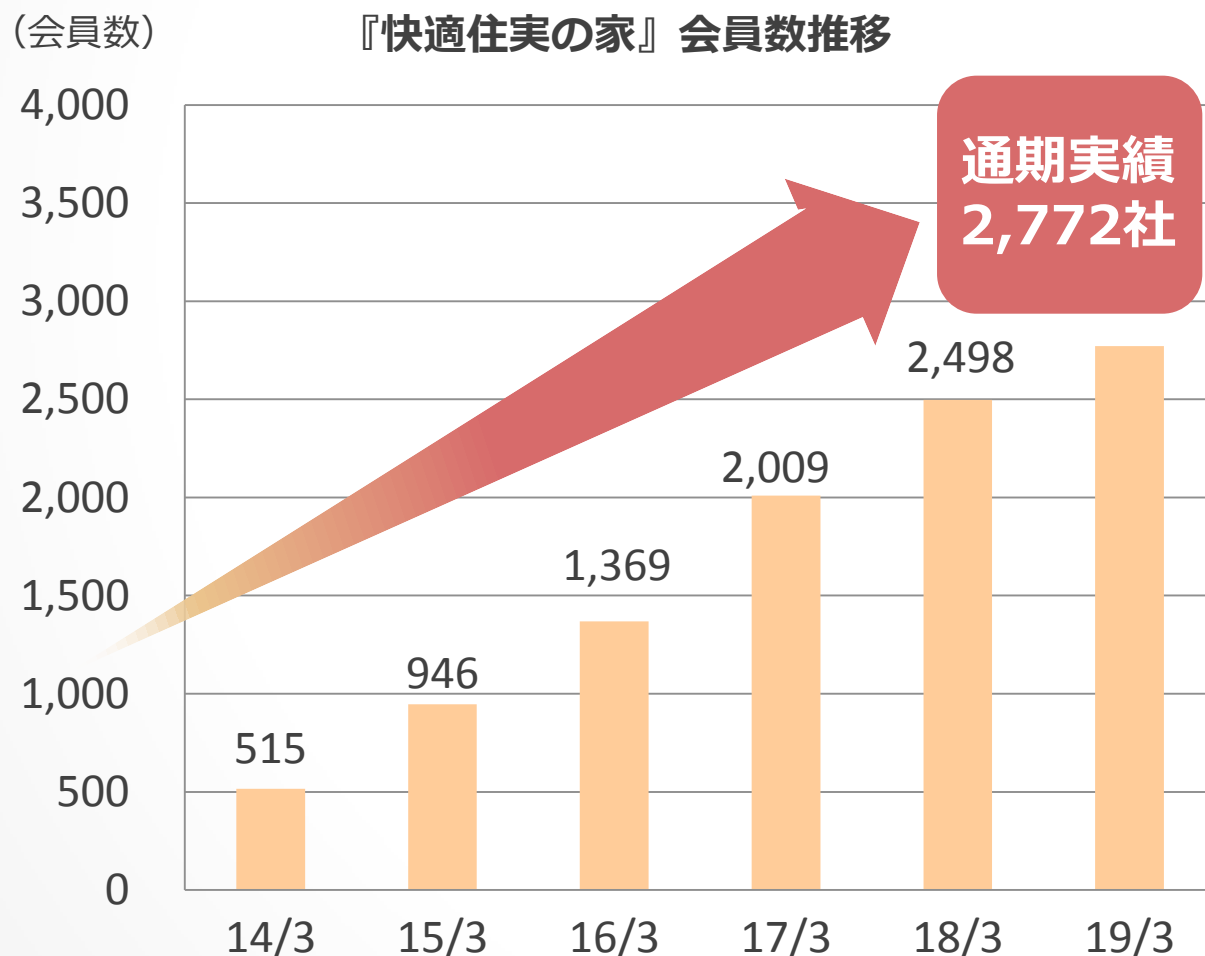


工事対応力



(4) 工務店様のより良い住まいづくりを応援する会「快適住実の家」

ジャパン建材(株)が運営する「快適住実の家」は、サポートを通じて工務店様のより良い住まいづくりを応援し、共に住宅業界で勝ち残ることを目的として活動しております。各種申請サポート業務やアフターメンテナンスなどの後方支援サービスに加えて、新規顧客獲得に繋がるサービスも充実させてまいります。



 **快適住実の家**
CREATE MORE COMFORT

パークPFI・公民連携への取り組み

◆ 企業概要

物林株式会社の特建事業の「木構造建築事業」の継承と、環境・景観事業部「都市公園施設の運営・管理事業」の拡大発展を目指し2019年3月1日付にて物林株式会社の子会社として設立。

◆ 今後の展望

⇒ 140年間、官が運営してきた公園を舞台に、公民連携の新しいビジネスが今年度からはじまるなか「木材が公園を、そして都市を育てる」という新しい視点を持った技術立社のコンストラクターとして都市公園の全国展開を目指していく。



豊洲ぐるり公園

(6) 物林『江東区立有明西学園新築工事』

平成30年度木材利用コンクール最高賞「内閣総理大臣賞」受賞
ウッドデザイン賞2018最高賞「農林水産大臣賞」受賞



北海道カラマツの供給・内部木工事を担当。



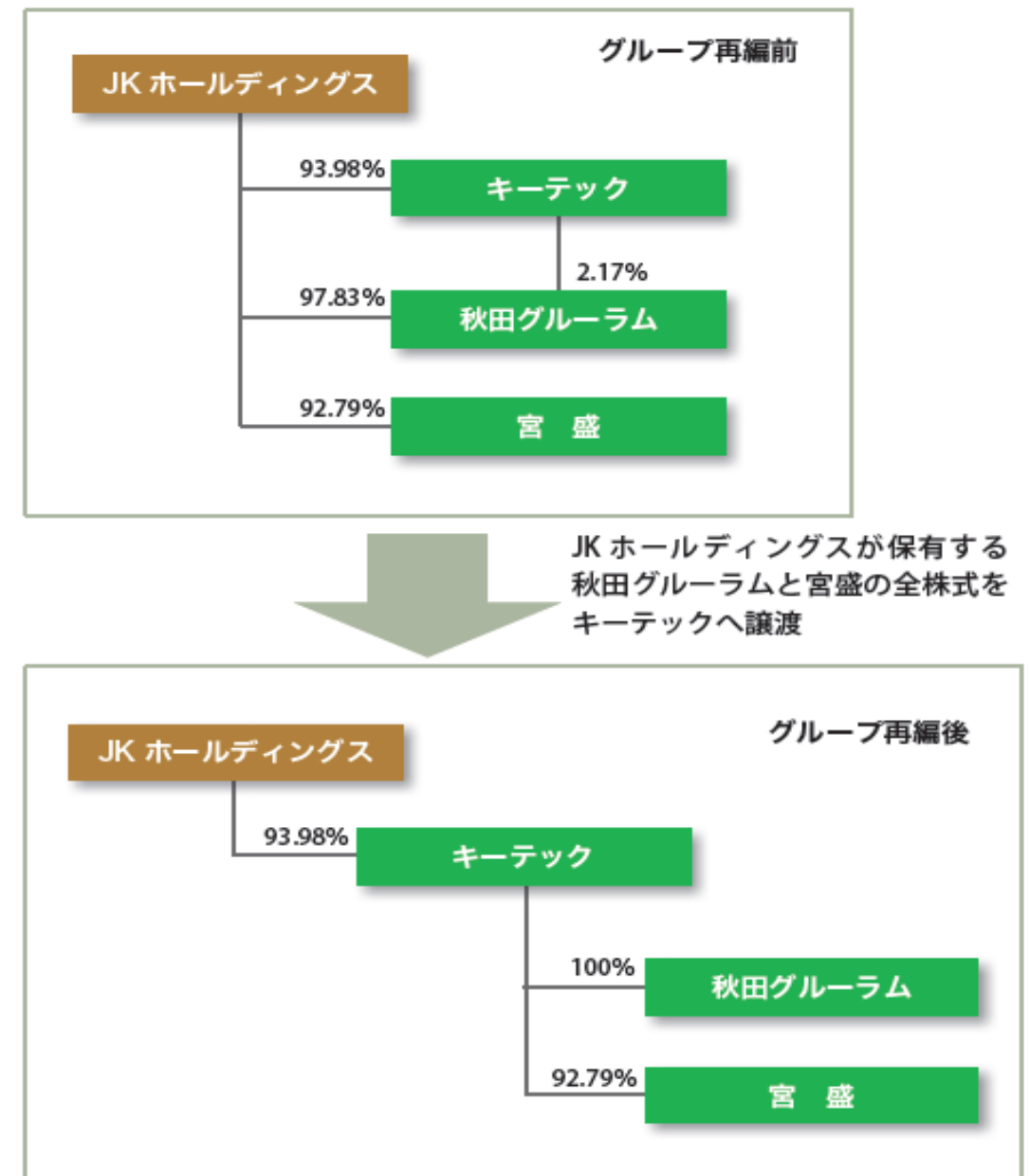
⇒ 国の推進する公共構造物の木造化、国産木材の活用、大規模木造建築の普及・展開に大きく貢献。

秋田グルーラム及び宮盛、 キーテックの子会社へ

◆ 概要

素材製造を手掛ける連結子会社である秋田グルーラム株式会社および株式会社宮盛の両社を、製造・加工セグメントの中核企業である連結子会社の株式会社キーテックの子会社とし、同社のリーダーシップを活かし中間事業持株会社とするグループ内再編を実施。

⇒ 中・大規模木構造建築や内外装木質化の事業強化のため、より一体的に経営していく体制を整備して、事業全体の合理化・効率化することを企図する。





5月13日から本格稼働 今夏のフル稼働を目指す。

◆ 概要

所在地	: 山梨県南巨摩郡身延町下山
敷地面積	: 22,459坪
設備内容	: 針葉樹合板一貫製造ライン
総工費	: 約80億円
生産規模	: 月間約5,700立方メートル
従業員	: 約40名

⇒ 原木は山梨県産材を中心に近隣の都県から調達。
月間1万立方メートルの原木消費を見込んでいます。
製造する合板は12～28mm厚の針葉樹構造用合板が中心で
将来的にはフロア台板の生産も行う。

工場の全体像（現況）



生産ライン カットライン



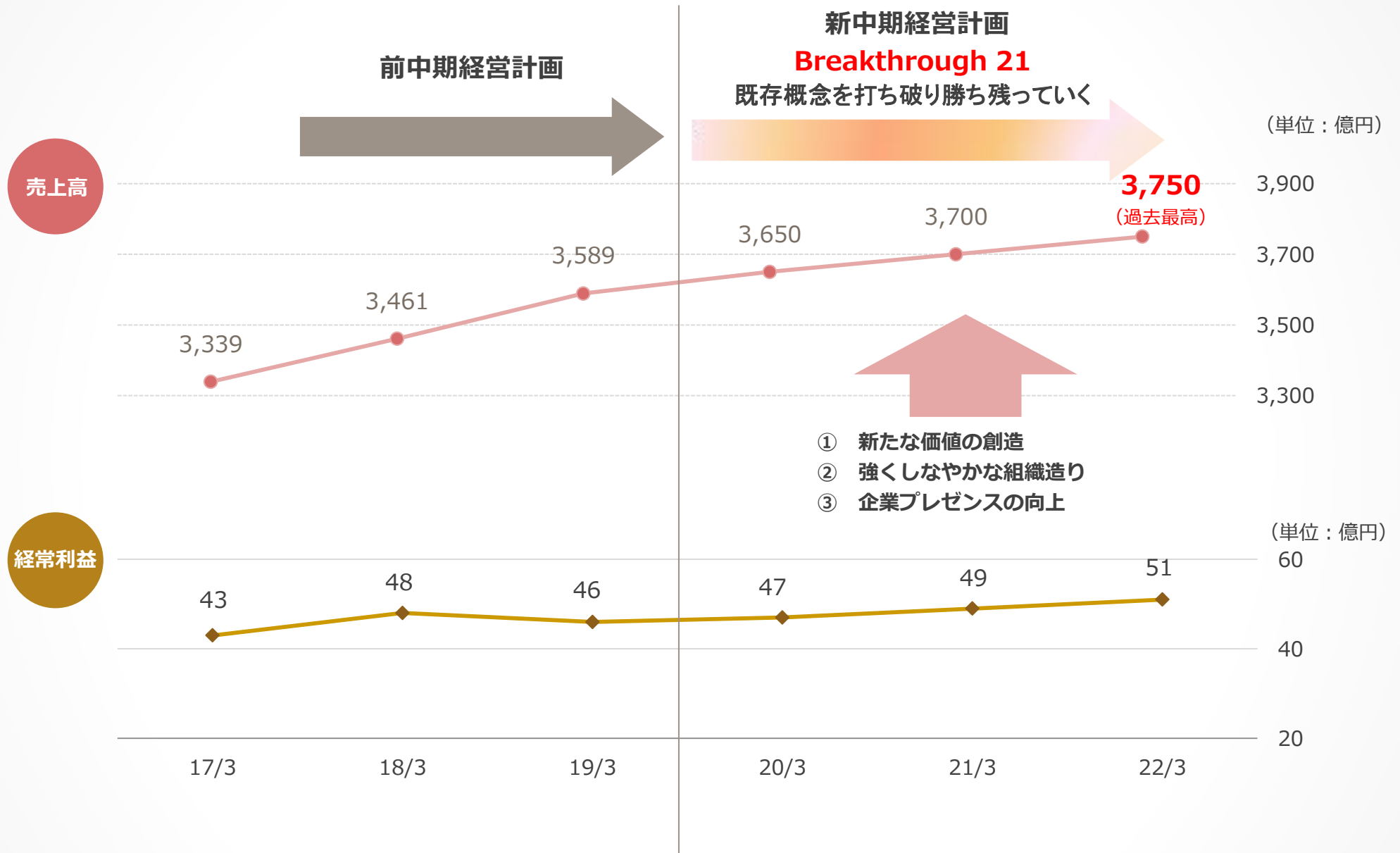


中期経営計画

(1) 中期目標 – 売上高と経常利益の見通し



スマイルが生まれる住まい
JK Holdings Co.,Ltd.



「Breakthrough 21」

既存概念を打ち破り勝ち残っていく

企業プレゼンスの向上

- ・ 国産材有効活用への貢献
- ・ 木材・合板博物館等への協賛
- ・ I R、P Rの強化

新たな価値の創造

- ・ (株)キーテックが山梨合板工場を新設し今春稼動開始
- ・ INTERRA Japan(株)を核にE Cビジネスを拡充
- ・ パークP F I・公民連携への取り組み
- ・ 材工一式販売、P B商品、
J K木造建築グループ等付加価値部門の拡大

強くしなやかな組織造り

- ・ ジャパン建材(株)の機構改革
- ・ 海外事業
- ・ 建材小売子会社の再編
- ・ システムインフラの整備
- ・ 木質素材製造子会社の再編
- ・ 業界再編への取り組み
- ・ 働き方改革の実践と人材育成



スマイルが生まれる住まい

JK Holdings Co.,Ltd.